



林 春 男 名誉教授

(2017年 授与予定)

林 春 男 教 授 略 歴

(学 歴 ・ 職 歴)

昭和	26年	4月	9日	東京都に生まれる
	45年	4月		早稲田大学第一文学部心理学科入学
	49年	3月		早稲田大学第一文学部心理学科卒業
	49年	4月		早稲田大学大学院文学研究科修士課程入学
	51年	3月		早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了
	51年	4月		早稲田大学大学院文学研究科博士課程 入学
	54年	9月		カリフォルニア大学大学院心理学科博士課程 入学
	58年	3月		カリフォルニア大学大学院心理学科博士課程 修了
	58年	3月		早稲田大学大学院文学研究科博士課程 第3学年単位修得退学
	58年	6月		Ph.D (カリフォルニア大学)
	58年	4月		弘前大学人文学部講師
	60年	8月		弘前大学人文学部助教授
	63年	9月		広島大学総合科学部助教授
平成	6年	4月		京都大学防災研究所地域防災システム研究センター助教授
	8年	5月		京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授
	27年	9月		退職
	27年	10月		国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
	27年	10月		京都大学防災研究所 特任教授

(受 賞 等)

平成	17年	5月		兵庫県防災功労者表彰
	18年	9月		防災功労者防災担当大臣表彰
	21年	6月		神戸市制120周年記念 市政功労者表彰
	23年	7月		ESRI International User Conference : Making a Difference Award
	25年	9月		防災功労者内閣総理大臣表彰
		11月		消防団120年・自治体消防制度65周年記念総務大臣表彰

(学 会 ・ 委 員 等 歴)

平成	12年	5月		京都市防災会議専門委員 (平成27年11月10日まで)
		6月		厚生省大規模災害救助研究会委員, 応急仮設住宅等分科会委員 (平成13年3月31日まで)
		7月		京都市明日の鴨川の橋を考える会委員 (平成15年3月31日まで)
		11月		東京都震災復興検討会議 (平成16年10月31日まで)
				愛知県災害対策懇話会委員 (平成14年3月31日まで)
		12月		愛知県水害対策検討委員会委員 (平成14年3月31日まで)
	13年	3月		日本赤十字社災害救護活動のあり方に関する懇談会委員 (平成14年2月28日)

4月	防災科学技術研究所地震防災ボランティア研究センター-災害過程シミュレーションチーム - (平成16年3月31日まで) 防災研究協会非常勤研究員 (継続)
6月	文部科学省研究開発局 科学技術・学術審議会 (研究計画・評価分 科会) 専門委員 (平成19年1月31日まで) 総務省近畿総合通信局広域巨大災害における情報通信のあり方に関 する調査研究会委員 (平成16年3月31日まで)
8月	砂防・地すべり技術センター富士山ハザードマップ検討委員会委員 (平成17年3月31日まで)
9月	新川町社会福祉協議会災害対策計画策定委員会アドバイザー (平成 14年3月31日まで)
10月	兵庫県教育委員会学校危機対応ガイドライン(不審者への対応)検討委員 会 (平成14年3月31日まで) 甲子園大学非常勤講師 (平成14年3月25日まで)
14年 1月	東京都三宅村復興計画策定委員会委員 (平成15年1月20日まで) 消防庁災害ボランティアの活動環境に関する検討懇談会委員 (平成 15年3月31日まで)
3月	防災科学技術研究所検討会委員 (平成15年2月28日まで)
4月	兵庫県非常勤嘱託員 (上級研究員) (平成15年3月31日まで) 阪神・淡路大震災記念協会研究企画委員会委員 (平成18年3月31日ま で) 富士常葉大学非常勤講師 (平成15年3月31日) 甲南大学非常勤講師 (平成15年3月31日)
5月	文部科学省研究開発局「構造物の破壊過程解明に基づく生活基盤の 地震防災性向上に関する研究」研究推進委員会委員 (平成16年3月31 日まで)
6月	三重県地域防災計画被害想定調査委員会委員 (平成18年3月31日ま で)
9月	内閣府中央防災会議専門委員 (平成16年9月23日まで)
10月	奈良県地震被害想定調査検討委員会委員 (平成17年3月31日まで)
15年 2月	宇治市総合計画審議会委員 (平成17年2月16日まで)
4月	甲南大学非常勤講師 (平成16年3月31日まで) 阪神・淡路大震災記念協会上級研究員 (平成17年3月31日まで)
5月	東南海・南海地震津波対策検討委員会委員 (平成16年3月31日まで)
6月	京都府木津川右岸運動公園 (仮称) 整備計画検討委員会委員 (平成 16年3月31日まで)
6月	国民安全事典(仮称) 編集委員会委員 (平成16年3月31日まで)
10月	甲子園大学非常勤講師 (平成16年3月25日まで)
11月	兵庫県国連防災世界会議地元推進協力委員会委員 (平成16年11月6日 まで) 都市防災研究所人材育成システム構築のための特別委員会委員 (平 成18年3月31日まで) 消防庁災害時のボランティア・コーディネーター支援システム検討 会委員 (平成16年3月31日まで)
16年 1月	阪神・淡路大震災記念協会復興10年委員会委員 (平成17年3月31日 まで)

- 2月 GIS（地理情報システム）利用定着化実証調査ワーキンググループ委員（平成18年3月31日まで）
- 3月 内閣府国連防災世界会議に係る国内準備会合委員（平成17年1月22日まで）
- 4月 食の安全と健康ネットワークカリキュラム策定委員会委員（平成17年3月31日まで）
阪神・淡路大震災記念協会 21世紀文明研究委員会委員（平成18年3月31日まで）
- 6月 兵庫県行政システム推進委員会委員（平成17年3月31日まで）
- 8月 兵庫県防犯まちづくり有識者懇話会委員（平成17年3月31日まで）
- 10月 国立民族学博物館共同研究員（平成20年3月31日まで）
内閣府集中豪雨等の避難支援に係る検討会委員（平成17年3月31日まで）
兵庫県ひょうご「食」の安全・安心推進会議臨時委員（平成17年3月31日まで）
消防庁防災のための図記号に関する調査検討委員会委員（平成17年3月31日まで）
- 11月 消防科学総合センター防災・危機管理 e - カレッジ開発協力者（平成18年3月31日まで）
- 12月 防災情報共有プラットフォーム検討会委員（平成18年10月5日まで）
- 17年 3月 消防庁消防審議会委員（平成21年2月28日まで）
- 4月 大阪大学工学部招へい教員（平成18年3月31日まで）
静岡県国民保護協議会委員（平成27年10月23日まで）
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター非常勤嘱託員（上級研究員）（平成28年3月31日まで）
新学術誌（仮称）編集委員会委員（平成18年3月31日まで）
家庭の安全・安心百科（仮称）編集委員会委員（平成18年3月31日まで）
- 5月 文部科学省研究開発局地震調査研究推進本部専門委員（平成18年4月30日まで）
奈良県学校防災教育研究会議委員（平成18年3月31日まで）
大阪府自然災害総合防災対策検討委員会委員（平成18年12月31日まで）
新潟県7.13水害・中越大震災の検証委員会委員（平成18年3月31日まで）
新潟県危機管理防災センター（仮称）検討委員会委員（平成18年3月31日まで）
滋賀県国民保護協議会委員（平成27年4月30日まで）
- 6月 奈良県地震防災対策アクションプログラム策定検討委員会委員（平成18年3月31日まで）
- 7月 JR福知山線列車事故検証委員会委員（平成18年3月31日まで）
台風第23号災害検証委員会委員（平成18年3月31日まで）
- 8月 甲南大学非常勤講師（平成17年8月11日～平成17年8月13日）
兵庫県長期ビジョン推進委員会委員（平成22年3月31日まで）
- 9月 富士常葉大学非常勤講師（平成17年9月12日～平成17年9月14日）

		学術雑誌『減災-Disaster Reduction Management-』企画編集委員会委員（平成24年3月31日まで）
		大規模災害発生時における国の被災地応急支援のあり方検討会検討委員（平成18年3月31日まで）
10月		大阪府自然災害総合防災対策検討事業防災対策検討部会委員（平成18年9月30日まで）
11月		京都市水災予測システム検討委員会委員（平成18年3月31日まで）
18年	1月	河川情報センター洪水関連図記号検討委員会委員長（平成19年3月31日まで）
		滋賀県国民保護対応マニュアルの監修（平成18年3月31日まで）
	2月	京都府地震被害想定調査委員会委員（平成20年3月31日まで）
	4月	新潟大学客員教員（非常勤）（平成23年3月31日まで）
		防災科学技術研究所客員研究員（平成20年3月31日まで）
		大阪市国民保護協議会委員（平成27年9月30日まで）
		日本経済研究所国際協力の支援手法に係る研究会委員（平成19年3月31日まで）
	5月	兵庫県地域安全まちづくり審議会委員（平成22年5月25日まで）
	6月	神戸市国民保護協議会委員（平成27年9月30日まで）
		Journal of Disaster research編集委員会委員（継続）
	8月	内閣府国家公務員防災担当職員合同研修推進委員会委員（平成19年3月31日まで）
	9月	富士常葉大学非常勤講師（平成18年9月5日～平成18年9月7日）
	10月	新潟県防災立県推進戦略顧問（平成20年3月31日まで）
	11月	大規模災害発生時における情報提供のあり方に関する懇談会委員（平成19年3月31日まで）
19年	1月	奈良県地震防災対策アクションプログラム推進委員会委員（平成24年3月31日まで）
	2月	文部科学省研究開発局科学技術・学術審議会専門委員（継続）
	4月	文部科学省研究開発局防災教育支援に関する懇談会（平成19年12月31日まで）
	7月	防災教育チャレンジプラン実行委員会委員長（継続）
	9月	富士常葉大学非常勤講師（平成19年9月3日～平成19年9月5日）
		国土交通省国土地理院測量行政懇談会臨時委員（平成26年3月31日まで）
		ISO/TC223（社会セキュリティ）国内委員会委員（継続）
	10月	文部科学省研究開発局地震調査研究推進本部専門委員（平成20年9月30日まで）
	11月	「GIS防災情報ボランティア」の仕組みの確立に向けての検討ワーキング委員（座長）（平成20年3月19日まで）
		内閣府訓練手法開発のための検討会委員（平成20年3月31日まで）
20年	1月	地球惑星科学委員会・対応小委員会委員（平成20年9月30日まで）
		日本学術会議連携会員（平成20年9月30日まで）
	4月	富士常葉大学・大学院非常勤講師（平成21年3月31日まで）

- 5月 ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心なまちづくり政策研究群研究会委員（平成22年3月31日まで）
- 6月 京都府消防団活動活性化推進委員会委員（平成21年3月31日まで）
京都府防災会議戦略的地震防災対策指針（減災目標）査定部会委員部会長（平成21年5月31日まで）
- 9月 日本学術振興会第2回日中科学フォーラム組織委員会委員（平成21年3月31日まで）
奈良県安全・安心まちづくり推進事業有識者懇談会委員（平成21年3月31日まで）
- 10月 文部科学省研究開発局地震調査研究推進本部政策委員会新しい総合的かつ基本的な政策に関する専門委員会委員（平成21年9月30日まで）
- 11月 災害対応能力の維持向上のための地域コミュニティのあり方に関する検討会委員（平成21年3月31日まで）
- 12月 国土交通省河川局社会資本整備審議会専門委員（平成21年3月31日まで）
- 21年 4月 日本学術会議連携会員（土木工学・建築学委員会大規模地震災害総合対策分科会）（平成23年9月30日まで）
- 5月 災害対応能力と地域コミュニティの基盤・機能に関する検討会委員（平成22年2月26日まで）
- 6月 京都府戦略的地震防災対策推進部会部会長（平成27年9月30日まで）
- 7月 神戸市総合基本計画審議会委員（平成22年7月26日まで）
- 9月 兵庫県防災会議専門委員（平成27年9月30日まで）
- 10月 内閣府大雨災害における避難のあり方等検討会委員（平成22年3月31日まで）
- 12月 「家庭の安全・安心」編集委員（平成22年3月31日まで）
土木工学・建築学委員会学際連携分科会IRDR（災害リスク統合研究）小委員会委員（平成22年12月8日まで）
- 22年 4月 日本協力地震緊急救援能力強化計画プロジェクトにかかる国内支援委員会委員長（平成25年3月31日まで）
内閣府社会還元加速プロジェクトタスクフォース外部専門家（平成25年3月31日まで）
- 5月 日本学術会議連携会員（自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会）（平成23年5月31日まで）
- 7月 日本学術会議連携会員（自然災害のための国際協力のあり方検討委員会子国際プログラム連携分科会）（平成23年5月31日まで）
日本学術会議連携会員（自然災害のための国際協力のあり方検討委員会防災分野の国際協力に関わる基本戦略分科会）（平成23年5月31日まで）
内閣府中央防災会議専門委員（平成25年1月5日まで）
- 23年 2月 内閣府被災者に対する国の支援のあり方に関する検討会委員（平成27年3月31日まで）
- 4月 内閣府外部専門家（平成24年3月31日まで）
- 5月 滋賀県危機管理センター検討委員会委員（平成23年10月31日まで）

- 滋賀県地域防災計画の見直しにかかる検討委員会委員（平成26年3月31日まで）
- 6月 日本学術会議連携会員（継続）
京都府防災会議地域防災の見直し部会長（平成28年3月31日まで）
- 7月 ヤマト福祉財団東日本大震災復興支援選考委員会選考委員（平成24年6月30日まで）
京都府防災会議集中豪雨総合対策推進部会委員（平成27年3月31日まで）
大阪市建設局下水道の事業継続計画検討会委員（平成23年9月30日まで）
関西広域防災計画策定委員会原子力災害対策専門部会委員（平成25年3月31日まで）
- 8月 内閣府東日本大震災における災害応急対策に関する検討会委員（平成24年3月31日まで）
- 9月 内閣府災害対策法制のあり方に関する研究会委員（平成24年3月31日まで）
- 10月 内閣府防災対策推進検討会議委員（平成24年10月27日まで）
- 24年 1月 内閣府災害時多目的船に関する検討会委員（平成24年3月31日まで）
国立青少年教育振興機構防災教育の観点に立った青少年の体験活動プログラムの調査研究会委員（平成24年3月30日まで）
- 4月 河川財団役員評価委員会委員（平成28年3月31日まで）
中央防災会議「防災対策推進検討会議」首都直下地震対策検討ワーキンググループ委員（平成26年3月31日まで）
- 5月 姫路市立学校園防災マニュアル作成検討委員会委員（平成25年3月31日まで）
- 6月 文部科学省研究開発局地震及び火山噴火予知研究計画に関する外部評価委員会委員（平成24年8月31日まで）
科学技術振興機構領域総括（継続）
- 7月 平成24年度滋賀県国民保護共同実動訓練に係る評価委員会委員（平成25年3月31日まで）
- 8月 滋賀県地域防災計画（原子力災害対策編）の見直しにかかる検討委員会委員（平成25年3月31日まで）
- 25年 3月 内閣府中央防災会議専門委員（平成27年3月31日まで）
神戸市消防局防災福祉コミュニティ事業の推進に関する検討会開催に伴う委員長（平成25年12月31日まで）
- 4月 国際協力機構国内支援委員会委員長（平成26年9月30日まで）
- 5月 大阪市立大学戦略的研究評価委員（平成26年3月31日まで）
東北大学電気通信研究機構諮問委員会委員（継続）
- 6月 神戸市防災会議専門部会長（平成26年6月9日まで）
神戸市防災会議委員（平成28年6月9日まで）（平成27年9月30日まで）
- 7月 京都スマート情報化プラン～より確かな安心・安全を支える情報通信基盤の整備～検討会議委員（平成27年7月2日まで）

- 10月 内閣府災害対策標準化検討会議委員（平成26年3月31日まで）
内閣府「防災スペシャリスト養成」企画検討会委員（継続）
内閣官房情報通信技術総合戦略室新戦略推進専門調査会分科会構成員（平成27年10月2日まで）
- 11月 消防団の教育訓練等に関する検討会委員（平成26年3月31日まで）
- 12月 滋賀県基本構想審議会委員（継続）
国土交通省水管理・国土保全局社会資本整備審議会河川分科会気候変動に適應した治水対策検討小委員会専門委員（平成27年12月19日まで）
- 26年 2月 第3回国連防災世界会議に係る国内準備会合委員（平成27年3月18日まで）
- 4月 ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題についての検討委員会委員（平成27年3月31日まで）
- 5月 滋賀県原子力防災専門会議委員（平成27年9月30日まで）
- 7月 大阪市水道局災害情報システム再構築・運用保守業務委託にかかる総合評価一般競争入札検討会議委員（平成27年11月30日まで）
- 8月 京都府「災害からの安全な京都づくり条例」検討会議座長（平成27年8月14日まで）
- 9月 国土交通省水管理・国土保全局「新たなステージに対応した防災・減災対策」策定に関する有識者懇談会委員（平成26年12月31日まで）
- 12月 内閣府中央防災会議「防災対策実行会議」総合的な土砂災害対策検討ワーキンググループ委員（平成27年6月30日まで）
内閣府中央防災会議実行会議災害対策標準化推進ワーキンググループ委員（平成28年3月31日まで）
- 27年 4月 荒川区顧問（継続）
新潟県防災立県推進戦略顧問（平成27年3月31日まで）

林 春 男 研 究 業 績

論 文

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1995	阪神・淡路大震災による被災者のこころのケア・システムの実態と最初の2ヶ月間の評価	自然災害科学,J.JSNDST特集号,pp37-47	
1995	Societal implications of great Hanshin-Awaji earthquake disaster of January 17, 1995	,Journal of Natural Disaster Science,Vol.16,No.3,pp79-88	Yoshiaki Kawata
1996	情報システム - 防災CALISの確立 -	自然災害科学,15-2,pp93-102	
1996	Generation and management of disaster waste	Soils and Foundations,Special Issues ,pp349-358	Takeshi Katsumi
1996	阪神・淡路大震災における災害対応 - 社会科学的検討課題	実験社会心理学研究,35-2,pp194-206	
1999	被災者の対応行動にもとづく災害過程の時系列展開に関する考察	自然災害科学,Vol.18 No.1 ,pp21-29	田中聡・重川希志依
1999	電力消費量時系列データを利用した復旧・復興状況の定量的把握手法 - 阪神・淡路大震災への適用 -	自然災害科学,第18巻3号,pp355-367	高島正典
1999	「マーケット・イン」の防災を目指して	自然災害科学, "Vol.18,No.2",pp154-163	
1999	史料地震学をどう防災に活かすか	地学雑誌, Vol.108No.4,pp458-464	
1999	阪神・淡路大震災後の被災者の移動とすまいの決定に関する研究	地域安全学会論文集, No.1,93-102	木村玲欧・立木茂雄・浦田康幸
1999	広域地震災害における復旧・復興状況の時空間的な推移—阪神・淡路大震災を事例として—	地域安全学会論文集, Vol.1,pp1-8	高島正典
2000	災害エスノグラフィーの標準化手法の開発—インタビュー・ケースの編集・コード化・災害過程の同定—	地域安全学会論文集, No.2,pp267-276	田中聡・重川希志依・浦田康幸・亀田弘行
2000	神戸市社会統計を利用した阪神・淡路大震災後の生活再建指標(R1)の提案	地域安全学会論文集, No.2,pp213-222	柄谷友香・河田恵昭
2000	震災時における木造建物の被害調査手法の開発 - 調査目的と調査項目 -	地域安全学会論文集, No.2,pp139-144	堀江啓・牧紀男・重川希志依・田中聡
2000	災害時「こころのケア・トレーニング・マニュアル」構築に関する一提案	地域安全学会論文集, No.2,pp33-38	三谷智子

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2000	阪神・淡路大震災被災者の生活再建課題とその基本構造の外的妥当性に関する研究	地域安全学会論文集, No.2,pp25-32	田村圭子・立木茂雄
2000	阪神・淡路大震災後の被災者のすまい再建における決定とその規定因に関する研究	地域安全学会論文集, No.2,pp15-24	木村玲欧・立木茂雄
2000	DMSP/OLS夜間可視画像を用いた早期被災地推定システム(EDES)の開発	地域安全学会論文集, No.2,pp79-86	小檜山雅之・牧紀男・橋寺晋・松岡昌志・ハーバート・W・クレール・クリストファー・D・エルビッジ・V・ルース・ホブソン
2000	DMSP/OLS夜間可視画像を用いた被災地推定の妥当性の検証-トルコ・マルマラ地震(1999)及び阪神・淡路大震災(1995)への適用-	地域安全学会論文集, Vol. 2,pp69-78	高島正典
2001	地震災害からの復興過程とその対策計画	地学雑誌, Vol.110,No.6,pp991-998	
2001	地震災害からの復興過程とその対策計画	地学雑誌, Vol.110,No.6,pp991-998	
2001	効果的な防災教育に向けた防災知識体系化のための基礎的研究 - 防災知識の意味ネットワーク表現 -	地域安全学会論文集, No.3,pp189-198	山下未知子
2001	DMSP/OLS夜間可視画像を用いた早期被災地推定システム(EDES)の時系列画像法を用いた推定精度の向上	地域安全学会論文集, No.3,pp173-180	小檜山雅之・牧紀男・東田光裕・ハーバード・W・クノール・クリストファー・D・エルビッジ・V・ルース・ホブソン
2001	災害エスノグラフィーをもちいた災害過程における共通構造に関する考察	地域安全学会論文集, No.3,pp181-188	田中聡・重川希志依・浦田康幸・亀田弘行
2001	阪神・淡路大震災における建物被害調査結果の分析	地域安全学会論文集, No.3,pp117-122	牧紀男・堀江啓・田中聡
2001	地震被害ポテンシャル推定のためのDMSP夜間可視画像を用いた都市光分布の測定論モデル作成手法の提案 - 人工推定への適用 -	地域安全学会論文集, No.3,pp101-108	高島正典
2001	CCDカメラを用いた物理的復興度自動観測システムの開発	地域安全学会論文集, No.3,pp95-100	東田光裕・牧紀男
2001	液化化を誘因とする木造戸建住宅の被害に関する調査手法の開発 - 鳥取県西部地震における被害形態と補修費用 -	地域安全学会論文集, No.3,pp73-80	堀江啓・牧紀男・重川希志依・田中聡
2001	阪神・淡路大震災からの生活再建7要素モデルの検証 - 2001年京大防災研復興調査報告 -	地域安全学会論文集, No.3,pp33-40	田村圭子・立木茂雄・木村玲欧
2001	阪神・淡路大震災のすまい再建パターンの再現 - 2001年京大防災研復興調査報告 -	地域安全学会論文集, No.3,pp23-32	木村玲欧・立木茂雄・田村圭子

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2002	地方自治体における財政分析を用いた復興過程把握手法の提案	地域安全学会論文集, No.4,pp315-324	柄谷友香
2002	阪神・淡路大震災における兵庫県の予算配分事業執行	地域安全学会論文集, No.4,pp307-314	草野公平・牧紀男
2002	阪神・淡路大震災による兵庫県の組織運用の分析 - 災害対応のための人材確保 -	地域安全学会論文集, No.4,pp289-298	草野公平・牧紀男
2002	災害対応業務の標準化に向けたIDEFO手法による評価手法の開発	地域安全学会論文集, No.4,pp267-274	田口尋子
2002	外観目視による建物被災度評価手法の検討 - 建物被災度判定トレ - ニングシステムの開発 -	地域安全学会論文集, No.4,pp167-174	堀江啓・牧紀男・重川希志 依・田中聡
2002	DMSP夜間可視画像を用いた広域都市圏の同定と地震被害ポテンシャルの推定	地域安全学会論文集, No.4,pp151-158	高島正典
2002	都道府県別の地震被害データに基づく被害地震発生の時空間パターンの同定	地域安全学会論文集, No.4,pp105-112	下田渉・川方裕則
2002	高島正典,強震観測記録と消防庁被害報告を用いた広域の地震被害推定と被害の及ぶ範囲の同定の手法 - 2001年芸予地震への適用 -	地域安全学会論文集, No.4,pp95-104	村上則男・川方裕則
2002	災害対応シュミレータの概念設計	地域安全学会論文集, No.4,pp41-48	東田光宏・牧紀男
2003	阪神・淡路大震災の被災地における家計の変化 - 2003年京大防災研復興調査 -	地域安全学会論文集, No.5,pp45-52	田村圭子・立木茂雄・木村玲欧・野田隆・矢守克也
2003	地震による木造建物の破壊状態を反映する被害関数の構築	地域安全学会論文集, No.5,pp123-132	堀江啓・田中聡・長谷川浩一・牧紀男・沖村孝
2004	アジア太平洋地域における地震災害の軽減を目的としたマスタープランの開発：マニラ首都圏マリキナ市のケーススタディ	自然災害科学, 23-2, pp155-198	立木茂雄・牧紀男・田村圭子・田中聡・堀江啓・長谷川浩一・馬場美智子・近藤民代・渡辺正幸
2004	DMSP夜間可視画像における画素単位の観測値分布を考慮した都市光強度推定手法の提案	地域安全学会論文集, No.6,pp85-94	高島正典
2004	地震災害の被害想定のための高解像度衛星画像・GPSビデオカメラを用いた建物イベントリー推定手法-フィリピンのマリキナ市を事例として-	地域安全学会論文集, No.6,pp75-84	渡邊学・高島正典・堀江啓・田中聡・長谷川浩一・浦川豪
2004	水害を対象とした災害対応シミュレータ(プロトタイプ)の開発	地域安全学会論文集, No.6,pp51-58	東田光裕・斉藤俊一・北野哲人
2004	マニラ近郊の住宅地での建物ポリゴンデータを用いた地域特性の分析に基づく地震時死者数の推定	地域安全学会論文集, No.6,pp35-42	長谷川浩一・馬場美智子・堀江啓・牧紀男

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2004	フィリピン・マリキナ市における枠組組積構造 Non-Engineered住宅の耐震安全性に関する考察	地域安全学会論文集, No.6,pp25-34	田中聡・水越薫・大森達弥・ 堀江啓・藤原秀樹・ト部兼 慎・牧紀男・田村圭子
2004	GISを活用した個人の震災体験整理手法の開発と その活用 - 体験から得られるリソースに着目して -	地域安全学会論文集, No.6,pp373-382	下田渉・浦川豪
2004	非専門家に対する建物被災度判定訓練の効果検証	地域安全学会論文集, No.6,pp373-382	堀江啓・重川希志依・牧紀 男・田中聡
2004	復旧投資戦略に着目した経済被害推定モデルの構 築	地域安全学会論文集, No.6,pp323-332	柄谷友香・高島正典
2004	防災情報共有のためのクロスメディアデータベ ースの構築	地域安全学会論文集 ,No.6,pp315-322,2004.11, 地域安全学会	吉富望・浦川豪・下田渉・川 方裕則
2004	マルチハザード社会の安全・安心を守るための GISの活用方策 - Enterprise GISを基盤とした Combat GIS -	地域安全学会論文集, No.6,pp305-314	浦川豪・吉富望
2004	トレードオフを伴う意思決定過程として見た災害 対応過程	地域安全学会論文集, No.6,pp277-282	矢守克也・重川希志依
2004	阪神・淡路大震災被災者の長期的な生活復興過程の モデル化とその検証:2003年兵庫県復興調査データ への構造方程式モデリング(SEM)の適用	地域安全学会論文集, No.6,pp251-260	立木茂雄・矢守克也・野田 隆・田村圭子・木村玲欧
2004	被災者の主観的時間評価からみた生活再建過程 - 復興カレンダーの構築 -	地域安全学会論文集, No.6,pp241-250	木村玲欧・立木茂雄・田村 圭子
2004	ワークショップによる、ステークホルダー参加型 防災戦略計画策定手法の開発	地域安全学会論文集, No.6,pp129-138	田村圭子・立木茂雄・牧紀 男・田中聡・近藤民代・堀江 啓・馬場美智子・柄谷友香・ 長谷川浩一・深澤良信
2004	ステークホルダー参加型地震防災総合計画策定手 法の開発-「マリキナ市地震防災総合計画・アク シオンプラン」策定の試み-	地域安全学会論文集, No.6,pp111-120	牧紀男・近藤民代・田村圭 子・ケネス・トッピング・立木 茂雄・堀江啓・馬場美智子・ 田中聡・深澤良信・吉富望
2005	危機管理研修プログラムに関する研究-米国各州に おける事例から-	地域安全学会論文集, No.7,pp417-424	福留邦洋・深澤良信
2005	地域防災計画にみる防災行政の課題	地域安全学会論文集, No.7,pp395-404	永松伸吾・河田恵昭
2005	パネルデータからみる阪神・淡路大震災被災者の 復興-2001・2003年兵庫県生活復興パネル調査結果 をもとに-	地域安全学会論文集, No.7,pp375-384	黒宮亜希子・立木茂雄・野 田隆・田村圭子・木村玲欧
2005	現行社会制度を基盤とした被災者支援システムの 提案	地域安全学会論文集, No.7,pp369-374	井出明・金田直樹・立木茂 雄

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2005	介護保険制度は要介護高齢者の災害対応にいかに関与したのか-2004年7.13新潟豪雨災害と10.23新潟県中越地震を事例として-	地域安全学会論文集, No.7,pp213-220	田村圭子・立木茂雄
2005	2004年7月13日新潟水害における人的被害の発生原因の究明	地域安全学会論文集, No.7,pp197-206	田村圭子
2005	新潟県中越地震における被災者の避難行動と再建過程-総務省消防庁及び京都大学防災研究所共同実施調査-	地域安全学会論文集, No.7,pp161-170	木村玲欧・立木茂雄・田村圭子・堀江啓・黒宮亜希子
2005	サービス・マネジメントの枠組みに基づく被災者支援における窓口業務の設計-小千谷市り災証明書発行窓口業務を事例として-	地域安全学会論文集, No.7,pp151-160	高島正典・田中聡・重川希志依・牧紀男・田村圭子・堀江啓・吉富望・浦川豪・藤春兼久・佐藤翔輔・木村玲欧
2005	災害対応業務の効率化を目指したり災証明書発行支援システムの開発-新潟県中越地震災害を事例とした新しい被災者台帳データベース構築の提案-	地域安全学会論文集, No.7,pp141-150	吉富望・浦川豪・重川希志依・田中聡・堀江啓・松岡克行・名護屋豊・藤春兼久
2005	新潟県中越地震における建物被害認定調査の現状と課題	地域安全学会論文集, No.7,pp133-140	重川希志依・田中聡・堀江啓
2005	新潟県中越地震における被害認定調査・訓練システムの実践的検証-小千谷市のり災証明書発行業務への適用-	地域安全学会論文集, No.7,pp123-132	堀江啓・重川希志依・牧紀男・田中聡
2005	新潟県中越地震小千谷市支援プロジェクトマネジメント-プロジェクトマネジメントの枠組みによる評価-	地域安全学会論文集, No.7,pp113-122	田中聡・重川希志依・牧紀男
2005	震災発生時における関連情報集約とその提供法に関する研究-新潟県中越地震復旧・復興GISプロジェクトの取り組みを通じて-	地域安全学会論文集, No.7,pp97-102	澤田雅浩・八木英夫
2005	標準的な危機管理体制に基づく危機管理センターと情報処理のあり方-自治体における危機管理センターと情報処理の現状分析-	地域安全学会論文集, No.7,pp64-71	東田光裕・牧紀男・元谷豊
2005	モバイルデバイスを利用した緊急被害調査業務支援システムの構築-Arc PADを利用したAuthoring Systemの開発-	地域安全学会論文集, No.7,pp53-62	浦川豪・吉富望・堀江啓・石本常・大村径
2005	フィリピン・マリキナ市のNon-Engineered住宅の動特性と実地震による応答特性に関する一考察	地域安全学会論文集, No.7,pp1-8	鈴木三四郎・田中聡・堀江啓・牧紀男・水越薫・大森達也・藤澤秀樹
2006	社会調査による生活再建過程モニタリング指標の開発 — 阪神・淡路大震災から10年間の復興のようす—	地域安全学会論文集, No.8,pp.415-pp.424	木村玲欧・田村圭子・立木茂雄・野田隆・矢守克也・黒宮亜希子・浦田康幸

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2006	阪神淡路大震災被災者の生活復興過程にみる4つのパターン 2001年・2003年・2005年兵庫県生活復興パネル調査結果報告	地域安全学会論文集, No.8,pp.405-pp.414	黒宮亜希子・立木茂雄・野田隆・田村圭子・木村怜欧
2006	コンピテンシー分析に基づく災害対応人材育成カリキュラム作成手順の開発	地域安全学会論文集, No.8,pp.377-pp.386	指田朝久・長能正武
2006	TFIDF/TF指標を用いた危機管理分野における言語資料体からのキーワード自動検出手法の開発 - 2004年新潟県中越地震災害を取り上げたウェブニュースへの適用事例 -	地域安全学会論文集, No.8,pp.367-pp.376	佐藤翔輔・牧紀男・井ノ口宗成
2006	災害時要援護者の避難支援に関する政策法務のあり方について	地域安全学会論文集, No.8,pp.323-pp.332	山崎栄一・立木茂雄・田村圭子・原田賢治
2006	標準的な災害対策センターのあり方に関する研究 - 新潟中越地震時の小千谷市, 7.13新潟豪雨災害時の三条市の災害対策本部の運用実態を踏まえて -	地域安全学会論文集, No.8,pp.259-pp.268	元谷豊・牧紀男・東田光裕
2006	担当者と協働して構築するPOS型現場調査支援システムの開発 - 平常時の国道調査支援システム構築とその緊急時への応用事例 -	地域安全学会論文集, No.8,pp.243-pp.252	浦川豪・吉富望
2006	ハリケーン「カトリーナ」災害に対する米国の危機対応	地域安全学会論文集, No.8,pp.225-pp.234	河田恵昭・牧紀男・Bruce P. Baird・田村圭子・重川希志依・田中聡・岩崎敬・原口義座・永松伸吾
2006	電気通信企業における危機管理対応業務のICS適合度調査	地域安全学会論文集, No.8,pp.207-pp.216	今井健二・田仲正明・高木真二・北野哲人
2006	実効的かつ総合的な防災アクションプログラムのあり方に関する検討 - 各都道府県における防災アクションプログラムと計画マネジメント -	地域安全学会論文集, No.8,pp.197-pp.206	牧紀男・田村圭子
2006	ICSの枠組みに基づく効果的な危機対応を可能とする情報過程(インテリジェンス・サイクル)のあり方—神戸市の防災対応マニュアルの分析から—	地域安全学会論文集, No.8,pp.191-pp.196	東田光裕・牧紀男
2006	新潟県中越地震における県災害対策本部のマネジメントと状況認識の統一に関する研究 - 「目標による管理」の視点からの分析 -	地域安全学会論文集, No.8,pp.183-pp.190	近藤民代・越山健治・福留邦洋・河田恵昭
2006	災害対応支援システム構築に向けた職員だけの要件定義のための災害対応業務分析手法の開発 - 奈良県を対象とした適用可能性の検討 -	地域安全学会論文集, No.8,pp.173-pp.182	井ノ口宗成・東田光裕
2006	時系列分析に基づく被災地の復興過程の定量的評価に関する考察	地域安全学会論文集, No.8,pp.145-pp.154	柄谷友香・高島正典

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2007	大規模事故災害時の現地対策本部のあり方に関する基礎的研究-JR福知山線列車事故現場の実態とそこから得られた教訓を踏まえた考察-	地域安全学会論文集, No.9,pp.279-pp.287	元谷豊・牧紀男
2007	参画型による危機対応戦略計画策定のためのリスク同定・評価手法の提案	地域安全学会論文集, No.9,pp.225-pp.234	田村圭子・牧紀男・木村玲 欧・井ノ口宗成
2007	短期の学習モデルを取り入れた自治体職員によるGEOINTデータベース利用型の効果的な危機対応業務の実現-2007年能登半島地震災害への輪島市の対応を事例として-	地域安全学会論文集, No.9,pp.177-pp.187	井ノ口宗成・吉富望・浦川 豪・藤春兼久
2007	災害時要授護者の避難支援-個人情報により実践的な収集・共有を目指して	地域安全学会論文集, No.9,pp.157-pp.166	山崎栄一・立木茂雄・田村 圭子・原田賢治
2007	社会サービスとしての被害者対応の質を向上させる 情報マネジメントシステムの構築-QRコードを利用した安否情報収集システムの開発-	地域安全学会論文集, No.9,pp.147-pp.156	東田光裕・松下清・三宅康 一
2007	来たる東海・東南海・南海地震の時間差発生における問題の構造	地域安全学会論文集, No.9,pp.137-pp.146	照本清峰・鈴木進吾・須原 寛・田畑博史・中嶋宏行・紅 谷昇平・吉川忠寛・稲垣景 子・牧紀男・林能成・木村玲 欧・大野淳・河田恵昭
2007	効果的な危機対応を可能とするための『危機対応業務の「見える化」手法』の開発-滋賀県を対象とした適用可能性の検討-	地域安全学会論文集, No.9,pp.111-pp.120	竹内一浩・浦川豪・井ノ口 宗成・佐藤翔輔
2007	TFIDFを用いた災害・危機に関する言語資料体からのキーワード自動抽出手法の外的妥当性の検証	地域安全学会論文集, No.9,pp.65-pp.74	佐藤翔輔・牧紀男・井ノ口 宗成
2007	どれだけの規模の災害に見舞われたら復興計画が策定されるのか? -復興計画が策定される災害規模と計画内容	地域安全学会論文集, No.9,pp.29-36	牧紀男・太田敏一
2007	Quantitative Evaluation of Recovery Process in Disaster-Stricken Areas Using Statistical Data	Journal of Disaster Research,Vol.2 No.6,pp.453-pp.464	Yuka Karatani
2007	Monitoring Recovery Using Energy Consumption Indices	Journal of Disaster Research,Vol.2 No.6,pp.445-pp.452	Masasuke Takashima
2007	Damage Scale and Long-term Recovery Plans in Japan:Working with Local People	Journal of Disaster Research,Vol.2 No.6,pp.431-pp.444	Norio maki, Keiko Tamura
2007	Nishinomiya Built Environment Database and its Findings	Journal of Disaster Research,Vol.2 No.6,pp.419-pp.430	Kei Horie, Norio Maki
2007	Long-term Recovery from Recent Disasters in Japan and United States	Journal of Disaster Research,Vol.2 No.6,pp.413-pp.418	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2008	効果的な活用を可能とする災害対応記録のあり方及びその作成手法の提案-内閣府（防災担当）災害応急対策担当により作成されたアフターアクションレポートの作成過程とその活用に関する検討を踏まえて-	地域安全学会論文集, No.10,pp.573-582	元谷豊・重川希志依・牧紀男・田村圭子・田中聡・木村玲欧
2008	災害時要援護者支援実施上の課題解析-2007年神戸市東灘区不発弾処理の事例から-	地域安全学会論文集, No.10,pp.565-572	多名部重則・東田光裕
2008	被災者基本台帳に基づいた一元的な被災者生活再建支援の実現-2007年新潟県中越沖地震災害における”柏崎市被災者生活再建支援台帳システム”の構築-	地域安全学会論文集, No.10,pp.553-564	井ノ口宗成・田村圭子・吉富望
2008	危機発生時の効果的な資源管理のあり方への提言-2007年新潟県中越沖地震災害における県災害対策本部の資源管理業務の参与観察に基づいて-	地域安全学会論文集, No.10,pp.543-552	王蕾・木村玲欧・田村圭子
2008	2007年新潟県中越沖地震発生後の新潟県災害対策本部における状況確認の統一	地域安全学会論文集, No.10,pp.531-542	浦川豪・藤春兼久・田村圭子・坂井宏子
2008	課題解決型災害対応を実現するための活動支援体制の検討～新潟県中越沖地震の対応組織の活動を事例として～	地域安全学会論文集, No.10,pp.483-494	田村圭子・木村玲欧・井ノ口宗成
2008	実効性を重視した危機対応マニュアルの作成と訓練による検証-3層構造マニュアルの提案-	地域安全学会論文集, No.10,pp.473-482	東田光裕・多名部重則
2008	危機の規模に対応したIncident Facilitiesの効果的な配置方法に関する提案-Incident Command SystemにおけるZoneの概念を踏まえた分析-	地域安全学会論文集, No.10,pp.447-456	大館秀規・牧紀男・佐藤翔輔
2008	被災者台帳システム構築に関する政策法務上の課題-新潟県柏崎市における現状を踏まえて-	地域安全学会論文集, No.10,pp.311-320	山崎栄一・田村圭子・井ノ口宗成
2008	すまいの再建に向けた災害対応業務支援のための地図の実践的活用-2007年新潟県中越沖地震発生後の柏崎市地図作成班の活動を通じて-	地域安全学会論文集, No.10,pp.301-310	古屋貴司・浦川豪・藤春兼久・田村圭子・井ノ口宗成・坂井宏子・糠塚昌史
2008	TRENDREADER(TR)を用いた災害・危機に関する言語資料体の解析にもとづく災害・危機事象の将来展開予測手法の開発-新潟県を襲った近年の2つの地震災害を例にして-	地域安全学会論文集, No.10,pp.281-292	佐藤翔輔
2008	神戸市復興計画策定家庭の評価と考察	地域安全学会論文集, No.10,pp.215-224	太田敏一・牧紀男
2008	首都直下地震災害の曝露指標の算出とその地域的特性に関する研究	地域安全学会論文集, No.10,pp.97-104	鈴木進吾
2008	実行担当者のエスノグラフィーに基づく罹災証明集中発行業務プロセスの明確化	地域安全学会論文集, No.10,pp.77-88	小松原康弘・牧紀男・田村圭子・浦川豪・吉富望・井ノ口宗成・藤春兼久

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2008	平常業務をもとにした災害対応業務マニュアルの作成手法の確立に向けて-奈良県橿原市を対象とした適用可能性の検証-	地域安全学会論文集, No.10,pp.67-76	山田雄太・浦川豪・竹内一浩
2009	防災意識を維持することの難しさ	自治体危機管理研究, Emergency Management Studies, Vol.3, 特集・危機 管理の苦悩と展望, Vol.3, pp.21-30	
2009	Evaluation Planning Process of the Kobe Recovery Plan Based on Project Management Framework	Journal of Disaster Research, Vol.4, No.3, pp.271-281	Toshikazu Ota, Norio Maki
2009	QRコードを利用した位置情報取得システムの開発	地域安全学会論文集, No.11,pp.355-368	東田光裕・松下靖・三宅康一・森川昌之・吉富望・名和裕司
2009	位置情報に基づく災害対応業務を効果的に遂行するための標準的な情報処理手法の確立	地域安全学会論文集, No.11,pp.299-308,2009.11, 地域安全学会	浦川豪
2009	事業継続計画策定に向けた業務分析結果を用いた危機対応マニュアルの階層化及び人的資源分析に関する研究-大阪市水道局における検証を通じて-	地域安全学会論文集, No.11,pp.257-266	山下涼・石井浩一・谷口靖博
2009	首都直下地震における問題構造解明のためのTOC論理思考プロセスの適用	地域安全学会論文集, No.11,pp.225-233	程潔・重川希志依・目黒公郎・山崎文雄・中林一樹・田村圭子
2009	地域の歴史災害を題材とした防災教育プログラム・教材の開発	地域安全学会論文集, No.11,pp.215-224	木村玲欧
2009	人材育成のプロセスを重視した危機対応従事者向けの検収・訓練システムおよびそのマネジメントシステムの提案-内閣府防衛担当トレーニングシステムの開発とその運用に関する検討を踏まえて-	地域安全学会論文集, No.11,pp.203-213	元谷豊・牧紀男・田村圭子・木村玲欧・竹本加良子
2009	生活7領域からみた災害時要援護者における避難生活実態の解明～日本介護福祉士会による介護福祉ボランティアの活動実績を通して～	地域安全学会論文集, No.11,pp.147-156	田村圭子・岡田史・木村玲欧・井ノ口宗成・立木茂雄
2009	災害対応で得られた教訓と知識の体系的な継承手法の開発	地域安全学会論文集, No.11,pp.135-145	小松原康弘・田村圭子・井ノ口宗成
2009	災害時要援護者の避難支援-地域レベルにおける推進に向けた政策法務-	地域安全学会論文集, No.11,pp.51-60	山崎栄一・立木茂雄・田村圭子
2009	自治体における事務分掌を用いた業務優先度分析手法の提案-事業継続の観点から見た重要業務の選出-	地域安全学会論文集, No.11,pp.23-31	北田聡・石井浩一・谷口靖博・山下涼・田村圭子・竹本加良子・浦川豪・山田雄太
2009	逆算式アプローチによる危機対応マニュアルの機能検証方法の提案-神戸市マニュアルのProduction Lineの可視化-	地域安全学会論文集, No.11,pp.13-21	田口尋子

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2010	阪神淡路大震災から15年を経て～わかったこと、変わったこと～ 阪神淡路大震災からの復興 Long-term Recovery from the 1995 Hanshin-Awaji Earthquake Disaster	自然災害科学 J.JSDNS,29-3,pp. 303-317	
2010	豪雨災害時の災害通報の特徴及び土砂災害警戒情報発表基準時との関連に関する研究 - 平成21年中国・九州北部豪雨災害における山口県防府市を対象に -	地域安全学会論文集, No.13,pp. 283-291	北田聡・田村圭子・井ノ口宗成・元谷豊
2010	被災者台帳に基づく包括的な被災者生活再建支援業務の実態分析-2007年新潟県中越沖地震における柏崎市を事例として-	地域安全学会論文集, No.13,pp. 453-462	井ノ口宗成・田村圭子
2010	逆算式アプローチによる「とりまとめ報」作成手法の提案-効果的な状況認識の統一の実現-	地域安全学会論文集, No.13,pp. 433-442	田口尋子・北田聡
2010	新型インフルエンザによる社会経済活動への影響分析-神戸市の事例から得られた課題と知見-	地域安全学会論文集, No.13,pp. 423-432	多名部重則・東田光裕
2010	地域人口特性に基づく地域復興の評価-阪神・淡路大震災と新潟中越地震の地域特性と復興像-	地域安全学会論文集, No.13,pp. 347-355	陳海立・牧紀男
2010	大災害後の復興計画策定過程-神戸市とニュージーランドの計画策定過程の比較を中心として	地域安全学会論文集, No.13,pp. 335-345	太田敏一・ジョンソン ローリー・牧紀男
2010	危機管理事案としての新型インフルエンザ対応戦略策定の提案-神戸市における対応事例から-	地域安全学会論文集, No.13,pp. 327-333	東田光裕・田口尋子・多名部重則
2010	TRENDREADER(TR)TMを用いた京都大学附属病院インシデントレポート解析方法の開発	地域安全学会論文集, No.13,pp. 305-315	竹田百合恵・長尾能雅・佐藤翔輔
2010	広域連携の実現を目指した社会基盤としての災害対応空地情報に関する基礎的研究	地域安全学会論文集, No.13,pp. 293-303	古屋貴司・浦川豪・井ノ口宗成
2010	Risk Management for Hospitals Using the Incident Report,	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.6, pp.697-705	Yurie Takeda, Mitsuhiro Higashida, Yoshimasa Nagao, Manabu Yotsubashi, Shosuke Sato
2010	Building Comprehensive Disaster Victim Support System	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.6, pp.687-696	Go Urakawa, Keiko Tamura, Munenari Inoguchi, Kei Horie, Mitsuhiro Higashida, Ryota Hamamoto
2010	Adapting the Demographic Transition in Preparation for the Tokai-Tonankai-Nankai Earthquake	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.6, pp.666-676	Haili Chen, Norio Maki,
2010	Risk Management and Intelligence Management During Emergency	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.6, pp. 636-641	Mitsuhiro Higashida, Yuji Maeda

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2010	Next Generation ICT Services Underlying the Resilient Society	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.6, pp.627-635	Yuji Maeda, Mitsuhiro Higashida, Katsumi Iwatsuki, Takao Handa, Yoichi Kihara
2010	Realization of Resilient Society with Information Technology Revolution	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.6, pp.622-626	Katsumi Iwatsuki
2010	Geography Network for Sharing Geospatial Information in Disaster Management	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.108-116	Yuji Nawa, Go Urakawa, Hiro Ikemi, Ryota Hamamoto
2010	Building Local-Government Service-Oriented GIS Through 2007 Chuetsu-Oki Earthquake Experience	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.98-107	Tsutomu Honma, Go Urakawa, Menenari Inoguchi, Norihiro Tonosaki
2010	Inexpensive Integrated GIS for Local Government to Implement Emergency Response and Management Effectively	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.90-97	Go Urakawa
2010	GIS-Based Damage Certification Support System Based on Recent Earthquake Experience	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.82-89	Katsuyuki Matsuoka, Nozomu Yoshitomi, Go Urakawa, Ryota Hamamoto, Yuji Nawa, Hidenori Terano, Norihiro Tonosaki
2010	Disaster-Victim Database Development Using GeoWrap Method - From the 2004 Niigata Chuetsu Earthquake to the 2007 Niigataken Chuetsu-Oki Earthquake -	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.74-81	Nozomu Yoshitomi, Katsuyuki Matsuoka, Hidenori Terano, Munenari Inoguchi, Go Urakawa
2010	QR Coded Field Data Acquisition	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.66-73	Mitsuhiro Higashida, Yasushi Matsushita, Kouichi Miyake, Masayuki Morikawa, Nozomu Yoshitomi
2010	Mobile GIS Application Development for Emergency Damage Assessment in a Disaster	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.54-65	Norihiro Tonosaki, Go Urakawa, Kei Omura, Yuji Nawa, Ryota Hamamoto
2010	Spatial Exposure Analysis on Tokyo Metropolitan Earthquake Disaster	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.45-53	Shingo Suzuki
2010	Design Principles for Visualization of Public Information for Effective Disaster Reduction	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp.31-44	Kenshin Urabe, Satoshi Inoue, Haruhide Yoshida, Toshihito Shimosakai

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2010	Realization of Local Capacity Building for Managing Instructional-System-Design-Based GIS -A Case Study of Wajima City at 2007 Noto Hanto Earthquake-	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp22-30	Yoshihiro Ura,Munenari Inoguchi
2010	Realization of Effective Disaster Victim Support Through Development of Victim Master Database with Geo-Reference - A Case Study of 2007 Niigataken Chuetsu-Oki Earthquake-	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.1, pp12-21	Munenari Inoguchi, Keiko Tamura
2010	2007 Emergency Mapping Center Constructing Common Operational Pictures with GIS	Journal of Disaster Research, Vol.5 No1., pp5-11	Keiko Tamura, Go Urakawa
2010	生活再建支援台帳システムの効果的運用を目指した被災者確定業務の効率化手法	地域安全学会論文集, No.12,pp. 81-91	井ノ口宗成・田村圭子
2010	新潟中越沖地震後の柏崎市における応急仮設住宅供給と入居実態	地域安全学会論文集, No.12,pp. 41-51	古屋貴司・井ノ口宗成・田村圭子・浦川豪
2010	Smart Disaster Reduction Against Torrential Downpours: Micromedia Creation	Journal of Disaster Research, Vol.5, No.2, pp187-193	Keiko Tamura, Satoshi Kitada, Satomi Sudo
2011	災害対策本部における状況認識統一のための主題図作成支援ツールの開発	地域安全学会論文報告集,No.14,pp. 99-109	浦川豪・大村径
2011	自治体の危機対応能力向上のためのISO22320の制定	日本自治体危機管理研究, 7, pp27-35	
2011	平成21年の大雨時の避難勧告発令経験にもとづく自治体の対応に関する教訓・課題 - 大雨災害における避難のあり方等検討会「避難勧告・避難指示を発令した市町村に対する調査」の自由回答のTRENDREADER (TR) 解析 -	自然災害科学, Vol.30, No.1, pp123-145	佐藤翔輔・田村圭子・浦田康幸
2011	巨大災害に対する法整備に関する考案 - 首都直下地震対策を中心に -	自然災害科学, Vol.30, No.1, pp105-122	武田文男・佐藤翔輔
2011	東日本大震災時の買い溜めパニック・寄付・物資送付の関連要因に関する研究：インターネット調査結果から	地域安全学会論文報告集,No.15,pp. 463-472	松本亜沙香・立木茂雄
2011	広域災害時における公的機関の被害・災害対応データの現状と課題 - 東北地方太平洋沖地震での避難所避難者データを事例として -	地域安全学会論文報告集,No.15,pp. 333-342	木村玲欧・古屋貴司・井ノ口宗成・田村圭子
2011	様々なリスクに対する効果的な高速道路維持のための事業継続計画づくり - 西日本高速道路株式会社における検証を通じて -	地域安全学会論文報告集,No.15,pp. 323-332	岡本晃・田村圭子・井ノ口宗成・染矢弘志・南部優子
2011	災害時要援護者の個人情報をめぐる政策法務 - 新たな整理・分析枠組みの構築と違法リスクの抽出 -	地域安全学会論文報告集,No.15,pp.313-322	山崎栄一・立木茂雄・田村圭子

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2011	東日本大震災について報じられたウェブニュースコーパスの基礎的解析	地域安全学会論文報告集, No.15, pp.303-311	佐藤翔輔・今村文彦
2011	生活機能に基づく「基礎生活圏」の抽出手法の開発 - 紀伊半島、東日本大震災の被災地域を事例として -	地域安全学会論文報告集, No.15, pp.275-283	陳海立・牧紀男
2011	効果的な洪水ハザードマップ作成のための標準的表現手法の検討	地域安全学会論文報告集, No.15, pp.265-274	小松瑠実・北田聡・山本晋吾・下境敏広・ト部兼慎・牧紀男
2011	緊急地図作成チームにおける効果的な現場型空間情報マッシュアップの実現に向けた提案	地域安全学会論文報告集, No.15, pp.219-229	井ノ口宗成・田村圭子・古屋貴司・木村玲欧
2011	東北地方太平洋沖地震津波の人的被害に関する地域間比較による主要原因分析	地域安全学会論文報告集, No.15, pp.179-188	鈴木進吾
2012	新型インフルエンザ発生時の観光被害と社会的対応に関する考察-2009年神戸市における事例分析より-	地域安全学会論文集, No.17, pp.101-108	多名部重則・東田光裕
2012	Proposal on the Effective Use of Relief Helicopters Based on Experience in the Great East Japan Earthquake	Journal of Disaster Research, Vol. 7, No.sp, pp. 500-510	Hiroyuki Nakachi, Norio Maki
2012	首都直下地震発生後の日本経済シナリオ～エコノミストを対象としたエキスパートアンケート調査～	地域安全学会論文集, No.18, pp.451-459	永松伸吾
2012	東日本大震災における広域避難者支援システムの実態と課題-「神戸市避難者登録制度」の調査報告-	地域安全学会論文集, No.18, pp.503-513	多名部重則・東田光裕
2012	ID理論を活用した東京都における生活再建支援の知識・技術向上のための教育・訓練プログラム設計手法の構築	地域安全学会論文集, No.18, pp.433-442	木村玲欧・田村圭子・井ノ口宗成・堀江啓
2012	緊急地図作成チームにおける業務支援のための地理空間情報の活用-復旧期の岩手県医療・保健・福祉分野での実践活動を通して-	地域安全学会論文集, No.18, pp.363-372	古屋貴司・木村玲欧・井ノ口宗成・田村圭子
2012	広域災害を対象としたウェブ配信型被災者台帳システムの実装-岩手県・宮古市を中心とした東日本大震災被災自治体の試み-	地域安全学会論文集, No.18, pp.351-361	井ノ口宗成・田村圭子・木村玲欧・小原亜希子
2012	東日本大震災における三陸被災地の調査・分析に基づく後方広域支援拠点の選定に関する研究	地域安全学会論文集, No.18, pp.343-350	陳海立・牧紀男
2012	広域・大規模災害におけるヘリコプターの有効活用-阪神・淡路大震災以降で残された課題の解消-	地域安全学会論文集, No.18, pp.333-341	中地弘幸・牧紀男・木村玲欧
2012	高速道路におけるリスク分類と様々な防災対策の体系化-西日本高速道路株式会社における検証を通じて-	地域安全学会論文集, No.18, pp.323-332	岡本晃・染矢弘志・池添慎二郎・加治英希・田村圭子・井ノ口宗成
2012	局所的豪雨を対象とした移動体に対する災害関連情報の伝達のためのマイクロメディアの構築	地域安全学会論文集, No.18, pp.301-311	須藤三十三・浦川豪・福重新一郎・濱本両太

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2012	参画型による災害対応マニュアルの実現性検証に効果的な「Business Impact Map」の提案-NEXCO西日本和歌山事務所の事業継続計画を事例として-	地域安全学会論文集, No.18, pp.289-299	田村圭子・井ノ口宗成・鈴木進吾・岡本晃・尾崎智彦・木村玲欧
2013	The Development of Micromedia Transmitting the Disaster-Related Information Against Torrential Rains and Guerrilla Rains	Journal of Disaster Research, Vol.8, No.1, pp.7-17	Satomi Sudo, Go Urakawa
2013	最大級の南海トラフ地震による津波を見据えたBIA及びRAに基づく浄水施設の事業継続戦略構築-大阪市水道局を事例として-	自然災害科学, Vol.32, No.2, 2013, pp183-205	小松瑠実・尾原正史・鮫島竜一・玉瀬充康・豊島幸司・木村玲欧・鈴木進吾
2013	東日本大震災における被災自治体の人的資源運用に関する分析-宮城県石巻市を対象にして-	地域安全学会論文集, No.21, pp.169-177	佐藤翔輔・今村文彦
2013	The Impact of the Great East Japan Earthquake on Inbound Tourism Demand in Japan	地域安全学会論文集, No.21, pp.109-117	Lihui WU
2013	新型インフルエンザ対策時の事業者への協力要請に関する考察-2009年神戸市での事例調査から得られた課題	地域安全学会論文集, No.21, pp.51-60	多名部重則
2013	BFD(Business Flow Diagram)とCPM (Critical Path Method)を組み合わせた高速道路機能維持のための事業継続計画づくり-西日本高速道路株式会社を事例として-	地域安全学会論文集, No.20, pp.1-12	岡本晃・池添慎二郎・田村圭子・井ノ口宗成
2013	東日本大震災における被災地外からの人的支援量の関連要因に関する分析	地域安全学会論文集, No.19, pp.93-103	佐藤翔輔・今村文彦
2014	A Fundamental Study of Efficiency of Information Processing in Emergency Operations Center	Journal of Disaster Research, Vol.9, No.2, pp.206-215	Fumiaki Ichinose, Yuji Maeda, Naoko Kosaka, Mitsuhiro Higashida, Masahiro Sugiyama, Hideki Takeda, Tomomi Yamamoto
2014	Systematization and Sharing of Disaster Management Literacy by DMLH	Journal of Disaster Research, Vol.9, No.2, pp.176-187	Reo Kimura, Shingo Suzuki, Kosuke Kobayashi, Kenshin Urabe, Satoshi Inoue, and Takahiro Nishino
2014	Implementation of Prototype Mobile Application Operated on Smartphones for Micromedia Service	Journal of Disaster Research, Vol.9, No.2, pp.139-148	Munenari Inoguchi, Keiko Tamura, Satomi Sudo
2014	Development of Urban Resilience GeoPortal Online for the Better Understanding of Disaster Scenarios	Journal of Disaster Research, Vol.9, No.2, pp.128-138	Shingo Suzuki, Masafumi Hosokawa
2014	東日本大震災における消防防災ヘリコプターの活用結果に基づく南海トラフ巨大地震におけるヘリコプターの有効活用方法の提案	自然災害科学, vol.33, No.2, pp101-114	中地弘幸・牧紀男・小林啓二
2014	The Impact of Disasters on Japan's Inbound Tourism Demand	Journal of Disaster Research, Vol.9 No.sp, pp699-708	Lihui Wu

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2014	災害時要援護者支援に係る被災支援推進モデルの提案-神戸市の防災福祉コミュニティを事例として-	地域安全学会論文集, No.24, pp283-292	松山雅洋・木村玲欧・友安航太
2014	ICT活用による内閣府ガイドラインをベースとした災害対応マニュアルの改善手法の提案	地域安全学会論文集, No.24, pp201-210	一ノ瀬文明・竹口佳孝・山本知巳・圖書学・前田裕二
2014	対応経験を元とした災害対応計画の改善手法の開発～京都府における平成25年台風第18号のふりかえり事例から～	地域安全学会論文集, No.24,pp321-329	三宅英知・鈴木進吾
2014	被災者生活再建支援業務の要件同定を目指した「岩手県被災者台帳」における7市町村の業務データ実態解析	地域安全学会論文集, No.22, pp67-77	田村圭子・井ノ口宗成・濱本両太・菊地真司
2014	2012年京都府南部豪雨災害時の宇治市の対応-地域防災計画に求められる内容と災害対策本部業務への示唆-	地域安全学会論文集, No.22, pp51-58	牧紀男
2014	Disaster Resilience and population ageing:the 1995 Kobe and 2004 Chuetsu earthquakes in Japan	Disasters, Vol38, No2, pp.291-309	Haili Chen, Norio Maki
2014	罹災証明発給業務の効率化手法に関する分析-2012年京都府南部豪雨を事例として-	地域安全学会論文集, No.23 , pp1-10	村上滋希・牧紀男・堀江啓・濱本両太・東田光裕・田村圭子・小松瑠実
2015	Development of Web-Based Tabletop Emergency Earthquake Exercise System	Journal of Disaster Research, Vol.10, No.2, pp217-224	Bojia Zhou, Gang Sun, Xiaoyoung Zhang, Jianhua Xu, Junyan Lai,Xiaoxia Du, Masafumi Hosokawa, Reo Kimura,and Yukihisa Sakurada
2015	Attempt to Typify Disaster Educational Programs-Case Study of the Disaster Management Education Challenge Plan	Journal of Disaster Research, Vol.10, No.2, pp210-216	Kota Tomoyasu, Reo Kimura
2015	Comparison Between the Life Recovery Processes After the Mid-Niigata Earthquake and the Chuetsu-Oki Earthquake-Results of a Random Sampled Social Survey Using the Life Recovery Calendar and GIS-Based Spatiotemporal Analysis	Journal of Disaster Research, Vol.10, No.2, pp196-203	Reo Kimura, Munenari Inoguchi, Keiko Tamura
2015	Development of Science-Based Decision Support System for Evaluating the Safety of Evacuation Facilities in Case of Torrential Rains	Journal of Disaster Research, Vol.10 No.3, pp535-550	Hidetomo Miyake , Shingo Suzuki ,and Takahiro Nishino
2015	阪神淡路大震災が突きつけた新しい課題としての「復興」	地震ジャーナル, 59, pp22-28	
2015	大震災の被災と復興を経験した地域での長期人口動態の分析－阪神・淡路大震災の被災地にコーホート要因法を用いて－	地域安全学会論文集, No.25, pp.1-11	多名部重則
2015	What Should Be Considered to Realize ICT Support for Effective Disaster Response and Recovery?	IEICE TRANSACTIONS on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E98-A, No.08,	Munenari Inoguchi

総 説

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1994	ノースリッジ地震の社会的影響－その 1	自主防災,第119号,pp4-pp7	
1994	ノースリッジ地震の社会的影響－その 2	自主防災,第120号,pp16-pp18	
1994	ノースリッジ地震の社会的影響－その 3	自主防災,第121号,pp14-pp17	
1994	ノースリッジ地震の社会的影響－その 4	自主防災,第122号,pp15-pp17	
1994	北海道南西沖地震の被災者のストレスの低減	京都大学防災研究所都市施設耐震システム研究センター研究報告, No.8, pp68-pp82	藤森立男
1994	1983年日本海中部地震後に能代市民が体験した生活支障と各種被害の関連性	京都大学防災研究所年報, 第37号B-2, 1994, pp89-pp99	亀田弘行・岩井哲・北原昭男・能島暢呂
1994	市民及び行政の対応	文部省突発災害調査報告「1994年ロスアンジェルス地震と都市機能障害の調査研究」, 第8章, pp215-pp258	
1994	情報処理過程としての災害対応	自営無線ネットワーク, 第10号, pp13-pp27	
1995	1994年ノースリッジ地震の際の危機管理	京都大学防災研究所年報, 38-A, pp37-pp52	
1995	阪神・淡路大震災の復興に向けて－復興憲章（私案）－	自主防災, 128号, pp18-pp20	
1995	災害後のこころの傷のケア	東京消防, 9, pp22-pp27	
1995	災害復旧とこころのケア	電力土木, No.259, pp3-pp11	
1995	災害復旧とこころのケア	京都大学防災研究所公開講座「阪神・淡路大震災に学ぶ」, pp67-pp102	
1995	阪神淡路大震災後のこころの傷のケア	月刊地球「1995年兵庫県南部地震」, 号外 No.13, pp253-pp259	
1995	阪神・淡路大震災の私的教訓	自主防災, 127号, pp14-pp17	
1995	緊急対策の広域連携システムの確立	自主防災, 126号, pp19-pp21	
1995	危機管理計画としての地域防災計画	消防科学と情報, No.40, pp13-pp17	
1995	都市震害分析のための防災地理情報システムの構築－1983年の能代市の被害を例として	京都大学防災研究所年報, 第38号B-2, pp83-pp102	岩井哲・荻野宏之・角本繁・亀田弘行・能島暢呂

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1995	防災問題における資料解析研究 (22)	京都大学防災研究所年報, 第38号, A,pp123-pp136	河田恵昭・田中寅夫
1995	ノースリッジ地震の社会的影響ーその6	自主防災,第125号,pp21-pp25	
1995	阪神大震災からの復興に向けての課題	自主防災,第124号,pp10-pp11	
1995	ノースリッジ地震の社会的影響ーその5	自主防災,第123号,pp18-pp20	
1996	災害による「心の傷」を癒す支援体制の確立	現代のエスプリ別冊「被災者の心のケア」,pp191-pp201	
1996	災害を生き抜く～子どもたちのこころのケアと自立	進路ジャーナル, No.431, pp15-pp18	
1996	心のケアが被災者の自立を助ける	科学朝日, pp114-pp117	
1996	心的ダメージのメカニズムとその対応	こころの科学, 65, pp27-pp33	
1997	防災学からみた「こころのケア」	こころの科学, 76, pp9-pp14	
1998	大震災に学ぶ	土木学会関西支部, 第7編 2, pp5-pp16	
1998	危機管理とは何か	神戸市消防局 広報誌 雪, No.2, pp20-pp23	
1998	緊急対応の教訓ー震災から最初の100日	土木学会関西支部 支部だより, No.54, pp8	
1999	自主防災の歩むべき方向	消防科学と情報, No.59	
1999	災害時の心のケア	言語, Vol.28, pp70-pp77	
2003	体系的な震災理解のための参加型認識共有システムの構築	比較防災学ワークショップ Proceedeings, 第3回, pp51-pp58	下田渉・浦川豪
2003	Model construction and testing of psychological recovery processes from the Kobe earthquake disaster experiences I :Life recovery process scale construction using the 2002 public restoration housing residents population survey data	比較防災学ワークショップ Proceedeings, 第3回, pp23-pp28	Shigeo Tatsuki, Katsuya Yamori, Takashi Noda, Keiko Tamura, Kenji Koshiyama
2003	防災問題における資料解析 (30)	京都大学防災研究所年報, 第46号A, pp89-pp106	河田恵昭・田中哮義・矢守克也・高橋智幸・川方裕則
2004	被災者の心のケアと市民の役割	FRONT(水の情報文化情報誌), 別冊, pp21-pp23	
2004	防災問題における資料解析研究(31)	京都大学防災研究所年報, 第47号A, pp113-pp133	河田恵昭・田中哮義・矢守克也・川方裕則
2004	新潟県小千谷市税務課の挑戦	税大通信, No.460, pp2-pp3	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2005	「美しく・わかりやすく・役に立つ防災マップ」の作戦-京都市防災マップの挑戦-	月刊消防,第27巻11号,pp68-74	
2005	被害全体の早期把握こそ再建を早める基盤となる-阪神の教訓が生きた、中越地震での業務支援-	PREVENTION,Vol.10,pp11	
2005	人間は社会的な存在である	CFK NETWORK,Vol.2-19,pp2-pp7	
2005	時代とともに変化する「避難」の考え方	公園緑地,Vol.66No.4,pp18-pp20	
2005	一人の犠牲者も出さないために何ができるか-「いのちを守る地震防災」とGISの役割-	GIS NEXT,11号,pp12-pp15	
2005	Building an Integrated Database System of Information on Disaster Hazard,Risk,and Recovery Process -Cross-Media Database(2)-	京都大学防災研究所年報 C,48,pp53-pp60	Hironori KAWAKATA, Nozomu YOSHITOMI, Go URAKAWA, Kelly CHAN, Hideki MATSUURA, Kenichi TATSUMI, Takeshi HARA, Munenari AGUSA, Yoshiaki KAWATA
2005	Generic Strategy for Protecting Safety and Society by Using GIS -Combat GIS Based on Enterprise GIS-	京都大学防災研究所年報 C,48,pp153-pp160	Go URAKAWA,Nozomu YOSHITOMI
2005	防災問題における資料解析(32)	京都大学防災研究所年報 A,48,pp215-pp224	河田恵昭・田中孝義・矢守克也・川方裕則
2005	新潟県中越地震による小千谷市の建物被害分布に関する一考察	第24回日本自然災害学会学術講演会講演概要集,pp7-pp8	堀江啓・牧紀男・吉富望・重川希志依・田中聡・沖村孝・鳥居宣之
2006	防災とGISについて	特別講演セミナー「防災とGIS」,pp4-pp5,建設ジャーナル	
2006	Building an Interated Database System of Information on Disaster Hazards,Risk,and Recovery Process -Cross-Media Database(3)"	京都大学防災研究所年報,49号C,pp69-pp74	Hironori KAWAKATA, Paul YOSHITOMI, Go URAKAWA, Kelly CHAN, Hideki MATSUURA, Kenichi TATSUMI, Takeshi HARA, Munenari AGUSA, Yoshiaki KAWATA
2006	ステークホルダー参加型復興計画手法の構築-小千谷市復興計画策定での試み-	京都大学防災研究所年報,49号B,pp137-pp146	牧紀男・立木茂雄・重川希志依・田村圭子・佐藤翔輔・田中聡・澤田雅浩・小林郁雄
2006	防災問題における資料解析(33)	京都大学防災研究所年報,49号A,pp41-pp48	河田恵昭・矢守克也・牧紀男・川方裕則
2006	ハリケーン「カトリーナ」による広域災害に対する社会対応	京都大学防災研究所年報,49号,pp9-pp22	河田恵昭・牧紀男・Bruce P.Baird・田村圭子・重川希志依・田中聡・岩崎敬・原口義座・永松伸吾
2006	GISによる災害対応支援はこれからが本番	先端測量技術 国土管理・空間計測シンポジウム集,91,pp2-pp5	
2006	災害対策とデザイン	AXIS,126号,pp24-pp28	
2006	21世紀COE道場-最先端研究を歩く⑧京都大学	論座,5月号,pp176-pp179	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2007	いざという時には、普段やっていることしかできない	消防の動き, No.433, pp3	
2008	NY同時多発テロ事件からハリケーン・カトリナへ	第8回比較防災学ワークショップみんなで防災の知恵を共有しよう PROCEEDINGS, pp1-pp10	
2008	主張今こそ「防災教育」を！「大災害」に勝つ子供をこうして育てろ	THEMIS, 第17巻 第3号, pp88-pp9	
2008	防災教育について、考えましょう	文部科学時報, No.1594, pp28-pp33	
2009	水道事業者の事業継続計画	第9回比較防災学ワークショップ みんなで防災の知恵を共有しよう PROCEEDINGS, pp19-pp25	谷口靖博・石井浩一・山下 涼
2009	減災のための災害時の人間行動理解	CDIT, 2009.1. Vol.27, pp14-pp16	
2009	最悪シナリオの発見と人間行動, 巨大災害複合災害とその減災戦略	第1回複合災害シンポジウム報告書, pp83-pp93	
2009	防災の主役は市民-率先市民主義のススメ-	CSつうしん, 30(96), pp6-pp7	
2010	検証記録は「戦史」だ	リスク対策.com, Vol.20, pp12-pp13	
2010	社会の防災力と科学	科学, 第80巻、第8号, pp812-pp818	金田善行・平田直・越智繁雄
2011	膨大な情報から必要とされる情報を報せるビジネスツールとしてのTRENDREADER	情報管理, 54巻1号, pp2-pp12	佐藤翔輔
2011	大震災を経験した神戸に学ぶ減災と復興のススメ	子供の科学, 74, pp71-pp75	
2011	3.11の検証 災害対応を問う	リスク対策.com, Vol.25, pp42-pp50	
2011	東日本大震災に対してどのように取り組むか	季刊「消防科学と情報」, No.104, pp11	
2011	社会技術の“実装”に挑み続ける理由—“行政”のメカニズム	JST News, Vol.8/No.3, pp12-pp13	
2011	震災と都市防災～大規模災害への備えと対応～	経済人, pp20-pp21	
2012	基幹業務の継続へ参画型戦略計画を策定せよ だれもが指揮調整者の自覚で振る舞うこと 東日本大震災から危機管理を検証する	World Economic Community, 第24号 1巻, pp17-pp19	
2012	防災研究者から情報システム研究者に期待すること・知っておいて欲しいこと	2012年電子情報通信学会総合大会 情報・システム講演論文集1, ppSS-14	
2012	危機管理能力を高める	都市問題, 第103巻第2号, pp55-pp63	
2012	二十一世紀前半に確実視される「地震災害」への備え	リベラルタイム, 第12巻第3号, pp52-pp53	
2012	東北地方太平洋沖地震緊急地図作成プロジェクトについて	JACIC情報, 2012 Vol.27 No.1, pp71-pp76	井ノ口宗成・田村圭子

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2012	被災地の早期復興に向けた住所情報の空間情報化に関する基礎研究	2012年電子情報通信学会総合大会基礎・境界講演論文集,pp S-11-12	井ノ口宗成・田村圭子・木村玲欧
2012	率先市民主義～防災ボランティア論～	ボランティア研究会報告書-2009・2010年度-「ボランティアの今を考える」,pp6-pp16	
2012	ISO22320(危機対応)について学ぶ 序文・適用範囲・用語	リスク対策.com,Vol.32,pp84-pp89	
2012	活動情報に関する要求事項	リスク対策.com,Vol.34 November 2012,pp82-pp86	
2013	協力および連携に関する要求事項	リスク対策.com,Vol.35,pp.91-pp95	
2013	信頼される建築・都市の構築に向けて	信頼される建築物・社会基盤の構築とその危機管理,pp7-pp33	
2013	大災害が起こった時をどう考える！病院の事業継続の視点から	京都市立病院紀要,第32巻第2号2012,pp1(140)-pp9(148)	
2013	リーダーが心得ておくべき2つの問題 ハリケーン・サングディの教訓	リスク対策.com,Vol.37,pp20-pp23	
2013	課題、チーム、個人で能力を発揮しろ ボスではなくリーダーであれ	リスク対策.com,Vol.37,pp16-pp19	
2013	マイクロメディアサービスの普及をめざして	気象業務はいま 2013,pp18	
2014	自助力の向上	第14回比較防災学ワークショップ みんなで防災の知恵を共有しよう PROCEEDINGS,pp27-pp57	
2014	都市災害におけるレジエンスを考える	第4回自治体災害対策全国会議報告書,pp12-pp14	
2014	これが情報共有のポイントだ!	リスク対策.com,Vol.43,pp36-pp39	
2015	阪神・淡路大震災から20年-経営者の証言から読み取るBCMの本質-	リスク対策.com,Vol.47,pp4-pp6	
2015	防災分野で今後やるべきと思っていること	平成25年度連続研究会 新しい防災の考え方を求めて,pp5-pp22,2015.1.9,名古屋大学大学院環境学研究課	
2015	自己決定力の向上	神戸市消防局 広報誌 雪,No.764,pp18-pp19	
2015	国際災害協力における多国間協力	USJI Notice,Vol.7,pp1-pp4	
2015	危機対応におけるリーダーの役割	私立大学庶務課長会会報,第76号,pp35-pp83	

著 書

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2000	安全・安心のまちづくり	安全・安心のまちづくり,pp254-pp269	児玉桂子・小出治他
2000	リスク学辞典	TBSブリタニカ	林春男 他
2000	Digital City for Disaster Reduction-Development of Pictogram System for Disaster Management-	Digital Cities,236-245,Springer	Satoshi Tanaka, Kazunori Urabe, Haruhide Yoshida, Satoshi Inoue, Hideki Shima, Nobuhisa Deki, Jun Kasagi, Takahiro Nishino and Masasuke Takashima
2000	日本社会における災害トラウマ―「外傷後ストレス障害(PTSD)」	中山書店臨床後精神医学講座S6, S6, 319-326	
2001	率先市民主義 防災ボランティア論 講義ノート	晃洋書房, 155pp	
2001	地域防災計画(568-595), 災害からの復興とこころのケア(674-697)	防災学ハンドブック	
2003	いのちを守る地震防災学	岩波書店, 184pp	
2003	防災計画論, 防災学講座4	山海堂, 179	今本博建・岡田憲夫・河田恵昭
2005	12歳からの被災者学	239pp, 日本放送出版協会(NHK出版)	土岐憲三・河田恵昭
2005	International Strategy for Disaster Reduction	KNOW RISK,326,United Nations	
2005	防災を担う人材育成	伝えよう1. 17の教訓-創造的復興から未来へ-, pp. 232-237, 神戸新聞総合出版センター	
2005	13. 災害, 14. パニック	人間の許容限界事典, 271-284, 朝倉書店	
2006	災害のあと始末 被災後3日目からの対処マニュアル	127pp, (株) エスクナレッジ	
2006	阪神淡路大震災以降の地震対策, 天災・人災	海洋災害の分析と防災対策, pp. 169-193, (株) 生物研究社	
2006	自然災害に対する対する備えと心構え(pp. 50-51), ライフラインの防災対策(pp. 128-129)	家庭の安全・安心, (財) 全国危険物安全協会	
2006	7. 13新潟水害の犠牲者に学ぶ	豪雨・洪水災害の減災に向けて, pp. 193-219, 技法堂出版	
2007	安心・安全GISサミット基調講演: 「安心・安全分野でのGISの今後の活用」(要旨)	GISと市民参加,pp.103-pp.111,古今書院	
2008	組織の危機管理入門-リスクにどう立ち向かえばいいのか 京大人気講義シリーズ	169pp, 丸善株式会社	牧紀男・田村圭子・井ノ口宗成

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2008	自然災害に対する備えや心構えは？	改訂家庭の安全・安心-あなたと家族を守るリスクマネジメントQ&A,pp.78-pp.81,時事通信社	
2009	巨大地震災害へのカウントダウン	262pp, 東京法令出版株式会社	河田恵昭
2009	しなやかな社会の創造～災害・危機から生命、生活、事業を守る	207pp, 日経BPコンサルティング	京大・NTTリジリエンス共同研究グループ著(岩月勝美・浦川豪・大山孝・釜井俊孝・木原洋一・小林健一郎・鈴木進吾・畑山満則・林春男・半田隆夫・東田光裕・福岡浩・前田裕二・牧紀男)
2009	防災の決め手「災害エスノグラフィー」阪神・淡路大震災 秘められた証言	242pp, 日本放送出版協会(NHK出版)	重川希志依・田中聡
2009	災害時にパニックは起きるのか(pp363)	現代心理学入門 進化と文化のクロスロード,川島書店	西本武彦・大藪 泰・福沢一吉・越川房子 編著
2010	まんが版 家庭の安全・安心	pp.1-135,財団法人全国危険物安全協会	「家庭の安全・安心」編集委員会(伊藤滋・上原美都男・大森彌・川崎正信・清永賢二・志方俊之・林春男・平野啓子・山越芳男・山本保博)
2011	災害のあと始末 東日本大震災緊急改訂版	135pp, 株式会社エクスマレッジ	
2011	1.2.3.災害連鎖(pp. 18-21),6.2.2.復旧・復興(pp. 238-240),6.4.3.心のケア(pp. 270-272)	自然災害と防災の事典,丸善出版	
2011	Foreword	Creating Recovery,pp. 1-3,Fuji Technology Press Ltd.	David Mammen (Foreword by Haruo Hayashi)
2012	しなやかな社会への試練 東日本大震災を乗り越える	247pp, 日経BPコンサルティング	京大・NTTリジリエンス共同研究グループ著(一ノ瀬文明・岩月勝美・河本隆志・小阪尚子・小林健一郎・渋谷昌彦・鈴木進吾・田中仁史・林春男・半田隆夫・東田光裕・福岡浩・前田裕二・牧紀男・森島秀実)
2012	自然災害の基礎知識と防災対応力の育成	学校・子どもの安全と危機管理,pp. 156-164, (株)少年写真新聞社	
2012	Recovery Plans and Planning,	MANAGING URBAN DISASTER RECOVERY: POLICY, PLANNING, CONCEPTS AND CASES, pp. 31-42, A Crisis Response Publications A Division of FireNet International LTD	Edward J. Blakely, Eugenie L. Birch, Roland V. Anglin
2013	第7章ウェブニュースから東日本大震災を分析する	東日本大震災を分析する, pp.235-248, 明石書店	佐藤翔輔・今村文彦
2014	世界に通じる危機対応 ISO 22320:2011(JIS Q 22320:2013) 社会セキュリティー緊急事態管理ー危機対応に関する要求事項 解説	174pp, 日本規格協会	編集委員長 林 春男, 危機対応標準化研究会 編著